

(4) 強迫神経症……自己の意志に抗して、強迫観念や強迫感情、強迫行動が出現し、それらが不合理で、ばかっているとわかっていて、押さえようとすればする程現れてきてどうにもならない。そのために日常生活が著しく阻害される。その他、ヒステリー、心気症、解離神経症などがある。

心身症

「身体症状を主とするが、その診断と治療に心理的因子についての配慮が特に重要な意味を持つ病態」とされている。つまり、原因は心理面にあったとしても身体病であり、この点において、精神病や神経症から区別される。従って身体症状が明確であり、思春期に多いものとして、過呼吸症候群、過敏性大腸症候群、神経性食欲不振症、心因性頭痛、月経異常などがあるが、その原因が心理面にあることを見おとしてはならない。治療には、精密な身体検査を行うと同時に、心のあり方や環境についての細かい調査を行い、心理療法を主体とするか、身体的治療を主体とし、心理的治療を補助的に行うかを定めるのが原則である。いずれにしても、単なる薬物療法等によらず、病気に対する全人間的取り扱いが必要である。

診断的理解

クライアント理解の一つの立場で、クライアントの持つ心理的問題の性質、原因等について客観的資料を広く収集し、一定の作業に従って分類し、系統づけた上での総合する過程を経て問題の所在を明らかにして行くことである。

心理的外傷

一般に外傷経験といわれ、過去に大きな心配事や、恐怖、不安をいなく体験をし、その心の痛手を意識からは排除してしまっても、それによってゆがんだ心理状態や神経症的症状が発生する。この様な過去の体験をいう。

せ 性的エネルギー

精神分析では、性器に関係した感覚や感情、および精神的な愛情のほかに、性器外の肉体的快感をみとめ、これら性器外の快感を与える場所、すなわち性感帯に関係したものを性的と称した。そして、種の保存という生物学的目的をもつ先天的欲求を性欲といい、愛情・嫉妬などの心的要素、性器的欲求、さらに口唇の快感や排泄の快感などを求める欲求及び露出症等を含んでいる。性欲は